

進化を続ける「大洲のええモン」を発信



※各事業所の◎印は「大洲ええモンセレクション」認定商品

2月12日(水)から14日(金)の3日間、幕張メッセ(千葉市)で開催されたスーパーマーケット・トレードショー2020に、大洲ええモンセレクション認定6事業者が参加しました。大洲ええモンセレクションのさらなる販路開拓を目的とした1年間の取り組みの集大成として、「大洲のええモン」を全国のバイヤーに売り込みました。

スーパーマーケット・トレードショーは、食品流通業界に最新情報を発信する展示会で、今年は約8万人のバイヤーが来場しました。大洲市は平成27年度、28年度に大洲市単独で、平成29年度からは愛媛県共同ブース内に出展しています。

河辺の未来を考える会



大洲市河辺町で活動する地域おこし団体。河辺で養殖されたアマゴと出汁がセットになった「◎あまごめしの素」は、炊飯器にお米と出汁とアマゴを入れるだけで絶品の炊き込みご飯が食べられる商品。簡単に調理できることから、お土産用だけでなく、キャンプの際の食事としてもバイヤーの注目を浴びました。

◎あまごめしの素 **ここが進化**
商品パッケージを、より売り場に置きやすく、お土産としても手に取りやすい、洗練されたデザインにブラッシュアップしました。



株式会社 梶田商店



原料の仕入れから製造まですべてを自社で行う醤油蔵。原料・製法にこだわり抜いた商品ラインナップは、舌の肥えた首都圏のバイヤーたちをうならせました。

愛媛県産の裸麦・大豆を使用し、長年、多くの人に愛されてきた「◎たつみ麦みそ(甘口・中辛)」をさらに使いやすくするため、令和元年度はパッケージ・内容量などの改良に取り組みました。また、商品パンフレットを作成し、さらなる認知度向上を図りました。



たまいたみとも 有限会社 玉井民友商店



大正4年創業の老舗漬物店。人気の「ちりめん梅高菜混ぜご飯の素」の新シリーズとして「ひじきと筍の混ぜご飯の素」が登場。コリコリとしたタケノコの食感が多くのバイヤーの心をつかみました。

愛媛県産のタケノコを地元産の麦みそで漬け込んだ「◎筍のみそ漬け」は、優しい味わいから、土産物としての要望も多くありました。令和元年度は、お土産としても使いやすい商品パッケージの制作に取り組みました。



有限会社 ヒロファミリーフーズ



人気店ビストロサンマルシェのシェフが手掛ける加工食品。有機無農薬で育てられた大洲産のニンジンと、さらりとしたデザートソースに仕上げた「◎6.5キャロットの涙」は、爽やかな色合いと想像を超えるおいしさに、今回も多くのバイヤーに好評でした。

デザートソースの新シリーズ **ここが進化**

として「梨とキウイのジャムソース」が、令和元年度新たに登場しました。大洲市の発展を願い、地元産食材を積極的に使用した加工食品が次々と生まれています。



株式会社 サンフーズ



レトルトカレーをはじめ、さまざまな商品を製造・販売する会社。いもたきをカレーにした「◎いもたきカレー」は、令和元年度の大洲ええモンセレクション新規認定商品で、新しいレトルトカレーとして多くのバイヤーの目にとまりました。

いもたきに欠かせない大洲産のサトイモ・こんにゃく・油揚げなどがごろっと入った、化学調味料不使用・グルテンフリーの商品。 **ここが進化**

いりこや宗田節そうだぶしを使用し、出汁だしにもこだわり抜きました。



養老酒造 株式会社



「和醸良酒」を旨とする大洲市唯一の造り酒屋。芳醇な麴の香りを楽しめる「◎清酒純米にごり風の里」は、1年前に仕込んだものと、微炭酸が感じられる現在仕込み中のもの2種類の試飲を行い、時の経過とともに甘味の増す味わいを多くのバイヤーにPRしました。

「◎清酒純米にごり風の里」 **ここが進化**

の爽やかな飲み口が伝わるラベル・瓶のデザインに一新したほか、業務用に対応するため4斗よ樽だる(約72L)のデザイン作成にも取り組みました。



大洲のええモン さらなる開拓を目指して

平成24年度に始まった「大洲ええモンセレクション」認定制度は、今年で9年目を迎えました。令和元年度は、新たに「工芸品」や「食用の農林水産物」も審査対象に加わり、現在24事業者56品目が認定されています。

大洲市では、令和元年度に、食品を安全に製造する管理手段である「HACCP（ハサップ）」に関するセミナーや、首都圏などのバイヤー7社を大洲市に招へいた商談会を開催しました。年間を通して、自社商品に対するこだわりを消費者やバイヤーにPRするとともに、専門家などからアドバイスを受け、改良を続けることで商品力アップにつなげてきました。

今後も大洲市は、「大洲のええモン」の魅力と、商品に込められた熱い思いを1人でも多くの人にお伝えできるよう、事業者とともに誇りを持って商品を売り込み、さらなる大洲市の発展につながるよう積極的に取り組んでいきます。

令和2年度 大洲市職員人事異動

市職員227人が4月1日付で異動

人事異動の基本方針

今年度は、昨年度に引き続き平成30年7月豪雨災害からの早期復興に向けた事業を着実に推進するとともに、防災・減災対策や経済・産業の再生などの重点課題に的確に対処していかなければなりません。

また、だれもが元気で住みよい、魅力あるまちづくりの実現に向けて、第2次大洲市総合計画に基づく各種施策および事業を積極的に推進することが重要となります。

そのためには、各職員が自らの職責を果たすとともに、風通しの良い職場環境づくりを進めることで、組織力のさらなる向上を目指す必要があります。

今回の人事異動は、限られた人員による効率的・効果的な業務遂行を基本に、各職場の業務量や業務内容に応じた人員を配置するほか、長期勤務（おおむね4年以上）となる職員を可能な限り異動を行うとともに、職員の適性や能力が生かされるよう適材適所の人事配置に努めました。

主要な事務事業推進のための人事配置と職員派遣

▽市民の健康寿命延伸に向けた取り組みを全庁横断的に企画・推進するため、企画情報課に「健康寿命推進係」を新設します。

▽肱川・河辺地区の防災行政無線デジタル化を一層、推進するため、新たに土木技術職（職員OB）1人を配置します。

▽令和4年に愛媛県内で開催される第35回全国健康福祉祭（ねんりんピック）の準備を進めるため、高齢福祉課に「ねんりんピック推進担当」を配置します。

▽高齢者人口の増加に対応して要介護認定に係る業務量が増加しているため、高齢福祉課介護保

険業務係を1人増員し、人員体制の強化を図ります。

▽子育て支援施策の推進体制を見直し、子育て支援課で所掌していた放課後児童健全育成事業を教育委員会が補助執行し、必要な施策が迅速に対応できるよう生涯学習課に「青少年育成係」を新設して担当します。

▽肱北保育所と喜多幼稚園を統合した大洲市初の保育所型認定こども園「東大洲こども園」を開設し、幼稚園教諭4人を保育士として配置換えし子育て支援の充実を図ります。

▽森林環境譲与税を活用した森林・林業施策のさらなる展開に向けた体制を整備するため、農林水産課に新たに地域林政アドバイザー（有識者）を配置します。

▽大洲喜多特別養護老人ホーム事務組合の体制強化および効率化に向けて、新たに部長級職員を派遣するなど、引き続き一部事務組合への派遣を継続します。

▽愛媛県との相互人事交流を継続し、商工産業課に県職員1人を受け入れ、県医療保険課へ職員1人を派遣します。

▽令和3年度開催予定のいやしの南予・復興イベント（仮称）開催準備事務に従事するため、新たに愛媛県南予地方局に職員1人を派遣します。

▽広域行政の推進による事務の効率化とサービス水準の向上を図るため、愛媛県後期高齢者医療広域連合に職員を派遣します。

異動総数

▽異動総数 227人（昨年度 237人）
▽異動率 32.4%（昨年度 33.6%）



新規採用（21人）

(市立大洲病院) 二宮 文香	(市立大洲病院) 加洲 星太	(市立大洲病院) 濱田 由美	(市立大洲病院) 松田 千春	(市立大洲病院) 林 智絵	(市立大洲病院) 小西 梨央
(市立大洲病院) 谷本 真梧	(喜多保育所) 富永 郁弥	(徳森保育所) 栗田 紗輝	(菅田保育所) 三瀬 彩夏	(市立大洲病院) 長沼 幸奈	(市立大洲病院) 小川 岳大
(建設課) 浅井 祐輔	(治水課) 中野 友貴	(社会福祉課) 久保 智哉	(高齢福祉課) 葛井 桃香	(高齡福祉課) 宮田 真衣	(市立大洲病院) 佃 美智子
(企画情報課) 矢野 詩歩	(市民生活課) 大下 愛	(社会福祉課) 久保 智哉	(高齡福祉課) 葛井 桃香	(高齡福祉課) 宮田 真衣	(市立大洲病院) 佃 美智子
(企画情報課) 中野 友貴	(市民生活課) 大下 愛	(社会福祉課) 久保 智哉	(高齡福祉課) 葛井 桃香	(高齡福祉課) 宮田 真衣	(市立大洲病院) 佃 美智子
(企画情報課) 中野 友貴	(市民生活課) 大下 愛	(社会福祉課) 久保 智哉	(高齡福祉課) 葛井 桃香	(高齡福祉課) 宮田 真衣	(市立大洲病院) 佃 美智子
(企画情報課) 中野 友貴	(市民生活課) 大下 愛	(社会福祉課) 久保 智哉	(高齡福祉課) 葛井 桃香	(高齡福祉課) 宮田 真衣	(市立大洲病院) 佃 美智子
(企画情報課) 中野 友貴	(市民生活課) 大下 愛	(社会福祉課) 久保 智哉	(高齡福祉課) 葛井 桃香	(高齡福祉課) 宮田 真衣	(市立大洲病院) 佃 美智子
(企画情報課) 中野 友貴	(市民生活課) 大下 愛	(社会福祉課) 久保 智哉	(高齡福祉課) 葛井 桃香	(高齡福祉課) 宮田 真衣	(市立大洲病院) 佃 美智子
(企画情報課) 中野 友貴	(市民生活課) 大下 愛	(社会福祉課) 久保 智哉	(高齡福祉課) 葛井 桃香	(高齡福祉課) 宮田 真衣	(市立大洲病院) 佃 美智子

第19回「版画絵はがきコンテスト」作品展

肱川風の博物館・歌麿館で募集していた第19回「版画絵はがきコンテスト」について、審査会が行われ入賞者が決まりました。応募のあった全694点の作品は、6月22日(月)まで風の博物館に展示します。ぜひ、この機会に作者の思いが詰まった作品をご覧ください。
入賞したみなさんは次のとおりです。(敬称略)

一般の部

- ▽大賞 ① 田中 啓光
- ▽優秀賞 ② 川野 和男
- ▽優秀賞 ③ 牛田 克彦
- ▽大洲市長賞 黒川 英一
- ▽大洲市教育長賞 高比良 宏
- ▽風の博物館長賞 前田 彰
- ▽大洲郵便局長賞 上林 眞琴
- ▽肱川郵便局長賞 辻村 和美
- ▽予子林郵便局長賞 大門 孝藏
- ▽竹中木版竹笹賞 堀田 紗来
- ▽山田きよ賞 渡辺 敏彦
- ▽入賞 10人

中学生以下の部

- ▽大賞 ④ 阿部 凌河
- ▽優秀賞 ⑤ 和氣帆 乃加
- ▽優秀賞 ⑥ 岡崎 風沙
- ▽大洲市長賞 席野 咲良
- ▽大洲市教育長賞 橋本 心菜
- ▽風の博物館長賞 清家 桃
- ▽大洲郵便局長賞 梅木 創哉
- ▽肱川郵便局長賞 岩田 伊織
- ▽予子林郵便局長賞 城ノ戸 康壽
- ▽竹中木版竹笹賞 宮崎 耕太
- ▽山田きよ賞 都築 和真
- ▽入賞 10人



【一般の部優秀賞②】
「鍋ヶ滝 (裏見の滝)」



【一般の部大賞①】「冬構」



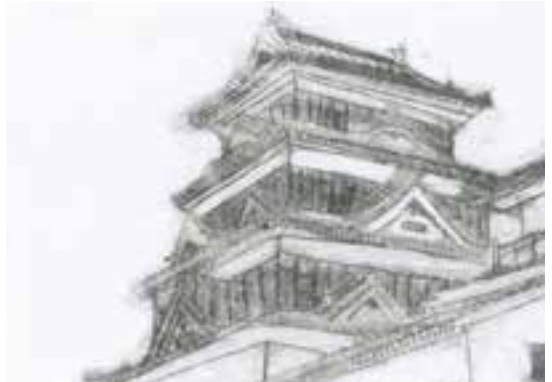
【一般の部優秀賞③】「首里城復興を願って」



【中学生以下の部優秀賞⑤】「おはなはん通り」



【中学生以下の部大賞④】「赤レンガ館」



【中学生以下の部優秀賞⑥】「大洲城」

新型コロナウイルス感染症により 影響を受ける市内事業者のみなさんへ

支援策について最寄りの窓口で相談できます。お困り事がある事業者のみなさんは、お早めにご相談ください。

資金繰りにお困りの場合

▽融資、資金繰り支援制度について相談したい人は、市内金融機関または次の窓口へ

- ・ 商工産業課 ☎241722
- ・ 大洲商工会議所 ☎244111
- ・ 長浜町商工会 ☎520312
- ・ 川上商工会 ☎342531
- ・ 愛媛県信用保証協会 ☎0894(22)2003

▽新型コロナウイルス感染症特別貸付(実質無利子・無担保貸付)、特別利子補給制度など、日本政策金融公庫の融資制度を活用したい場合

- ・ 日本政策金融公庫松山支店
- 国民生活事業 ☎089(941)6148
- 中小企業事業 ☎089(943)1231

解雇・休業・雇用調整助成金などの労働に関するお困りの場合

愛媛労働局の「特別労働相談窓

口」にご相談ください。

▽愛媛労働局雇用環境・均等室内特別労働相談窓口

☎089(935)5208

【雇用調整助成金について】

ハローワーク大洲 ☎243191

【小学校などの臨時休業に伴う保護者の休暇取得支援について】

学校等休業助成金・支援金等相談

コールセンター

☎0120(60)3999

事業所内の感染疑い・予防法などを聞きたい場合

事業所内に感染が疑われる人がいる場合、帰国者・接触者相談センターにご相談ください。医療機関への受診調整を行います。帰国者・接触者相談センター ☎089(909)3483

予防法など新型コロナウイルスに関する一般的な質問は、新型コロナウイルス一般相談窓口にご相談ください。

新型コロナウイルス一般相談窓口 ☎089(909)3468

野鳥



マダラチュウヒ(班沢鷺)
タカ目 タカ科
全長 45cm 翼開長 115cm

東南アジアで越冬して中国大陸北東部で繁殖するカラスより一回り小さいタカの仲間です。数年に一度くらいですが、春と秋の渡りに農地やアシ原で観察され話題になります。主にネズミや小鳥などの小動物を、低空で飛行しながら急旋回して捕らえます。一番の特徴は背中にイカリ模様があることですが、飛行中の背中を見ることは、写真撮影でもしない限り困難です。

野鳥は、1億5,000万年の長い間いつもヘルシーな生活をして病気にも負けず、現代まで命をつないできました。先の見えない感染症と向き合っている我々も、必ず打開策を見つけて乗り越えていけると信じています。そして今一度平和な暮らしがいかにかありがたいか、感じてほしいと思います。

NPO法人かわうそ復活プロジェクト④

文化財



小野地藏尊座像 1 軀
市指定有形文化財(彫刻)
小野地区所有

白滝の小野集会所に安置されているこの木像は、像高125cmの等身大で、平安時代後期以降にみられる左足を垂下して座った容姿をとっています。

元々、江戸時代初期(17世紀)に作られたとされ、昭和7(1932)年に発見された油紙から、延享元(1744)年に修復されたものといわれてきました。しかし、近年の再調査から、延享元年は修復された年ではなく、造像された年の可能性が高まり、江戸時代中期(18世紀)の制作であることが分かってきました。

江戸時代に造像された本像は、きわめて正統的で、丁寧な作風を表した仏像といえます。

(平成2年9月13日指定)